

事務事業名	生活習慣改善教室開催事業		<input type="checkbox"/> 施設計画上の主要事業	法令根拠	老人保健法
政策名	05	安心して暮らせる保健・医療環境づくり	所属部門	住民福祉 部	保健福祉 課
施策名	12	生涯を通じた健康づくり	課長名	江口 久子	担当者名
基本事業名	31111	健康づくりの充実	予算科目	会計 款 項 目 事業	健康教育事業
全庁共通課題	<input type="checkbox"/> 協働のまちづくり <input type="checkbox"/> 男女共同参画 <input type="checkbox"/> 食のまちづくり <input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 次世代				
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 全体計画の投入量を記入 (開始年度 14 年度 ~) (年度 ~ 年度)				

事業概要	全体計画 (単位:千円)
体格指数(BMI)25以上の者(肥満者)を対象に、生活習慣を振りかえり、自ら健康上の問題点に気づき、肥満を改善するための生活習慣を獲得することを目的としている。 基本健診受診者に参加動奨を行なうため対象者を抽出し訪問等を実施。その他、広報・新聞折込で周知、血液検査や運動実施のため公立芽室病院・スポーツ振興係と事前に連絡調整を実施。早期に自己の問題点に気づき改善に取り組める様、個別の関わりを重視している。また、集団で学習の機会を重ねることにより、お互いの状況について情報交換ができています。血液検査料・スポーツ保険として2,500円徴収している。(参加費については17年度4,500円徴収)	特定財源 一般財源 その他 事業費計(A) 正規職員従事人数 人工 人件費計(B) トータルコスト(A)+(B)

1 現状把握の部(DO)									
(1) 事務事業の目的と効果 手段(具体的な事務事業のやり方、手順、詳細)	活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない								
16年度実績 実施期間:2.5か月 開催回数:13回 参加者数:11人 プログラム内容(血液検査2回・保健師講話1回・栄養士講話1回・運動の実施6回・個別相談2回・まとめ1回) 16年4-10月に基本健診を受診した方のうちBMI25以上の方に個別通知を実施。新聞折込1回実施。肥満だけでなく生活習慣病予備軍の方を優先的に動奨。	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 開催回数(プログラム回数)</td><td>回</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	ア 開催回数(プログラム回数)	回	イ		ウ	
名称	単位								
ア 開催回数(プログラム回数)	回								
イ									
ウ									
17年度計画 実施期間:3.5か月 開催回数:15回(運動・血液検査を各1回増) 自己負担金4,500円徴収 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 BMI25以上の方(概ね35~65歳) 肥満だけでなく複数の生活習慣病を発症する危険性の高い方を優先的に動奨する	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア BMI25以上の概ね35歳から65歳の方</td><td>人</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	ア BMI25以上の概ね35歳から65歳の方	人	イ		ウ	
名称	単位								
ア BMI25以上の概ね35歳から65歳の方	人								
イ									
ウ									
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 今までの生活習慣を振り返っていただき、自らの健康上の問題点に気づき、肥満を改善するための生活習慣を獲得する。また、教室終了後も適切な生活習慣が維持できるような力を養う。	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 参加数</td><td>人</td></tr> <tr><td>イ 参加者の満足度</td><td>%</td></tr> <tr><td>ウ 参加者の生活習慣の改善率</td><td>%</td></tr> </table>	名称	単位	ア 参加数	人	イ 参加者の満足度	%	ウ 参加者の生活習慣の改善率	%
名称	単位								
ア 参加数	人								
イ 参加者の満足度	%								
ウ 参加者の生活習慣の改善率	%								
結果(どんな結果に結び付けるのか) 生活習慣病発症や悪化の予防。脳卒中等の重篤な疾病の発症の予防。将来的には医療費増大の抑制。	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 肥満者数の割合</td><td>%</td></tr> <tr><td>イ 生活習慣病罹患率</td><td>%</td></tr> <tr><td>ウ 脳卒中発症数</td><td>人</td></tr> </table>	名称	単位	ア 肥満者数の割合	%	イ 生活習慣病罹患率	%	ウ 脳卒中発症数	人
名称	単位								
ア 肥満者数の割合	%								
イ 生活習慣病罹患率	%								
ウ 脳卒中発症数	人								

(2) 総事業費・指標等の推移																																																																																																																																																																																									
	<table border="1"> <tr> <th>単位</th> <th>14年度(実績)</th> <th>15年度(実績)</th> <th>16年度(実績)</th> <th>17年度(見込)</th> <th>18年度(目標)</th> <th>19年度(目標)</th> <th>年度(最終目標)</th> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>特定財源</td> <td>千円 178</td> <td>172</td> <td>157</td> <td>136</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>千円 10</td> <td>4</td> <td>233</td> <td>263</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費計(A)</td> <td>千円 188</td> <td>176</td> <td>390</td> <td>399</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>正規職員従事人数</td> <td>人 3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>人工</td> <td>年間</td> <td></td> <td>0.0549</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>人件費計(B)</td> <td>千円 0</td> <td>0</td> <td>507</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>トータルコスト(A)+(B)</td> <td>千円 188</td> <td>176</td> <td>897</td> <td>399</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>活動指標</td> <td>ア 回</td> <td>9</td> <td>16</td> <td>13</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>イ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>対象指標</td> <td>ア 人</td> <td>63</td> <td>85</td> <td>135</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>イ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>成果指標</td> <td>ア 人</td> <td>19</td> <td>12</td> <td>11</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>イ %</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>ウ %</td> <td>31.6</td> <td>83.3</td> <td>80</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>上位成果指標</td> <td>ア %</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>イ %</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>ウ 人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	単位	14年度(実績)	15年度(実績)	16年度(実績)	17年度(見込)	18年度(目標)	19年度(目標)	年度(最終目標)	事業費								特定財源	千円 178	172	157	136				一般財源	千円 10	4	233	263				その他	千円							事業費計(A)	千円 188	176	390	399	0	0	0	人件費								正規職員従事人数	人 3	3	3	3				人工	年間		0.0549					人件費計(B)	千円 0	0	507	0	0	0	0	トータルコスト(A)+(B)	千円 188	176	897	399	0	0	0	活動指標	ア 回	9	16	13					イ								ウ							対象指標	ア 人	63	85	135					イ								ウ							成果指標	ア 人	19	12	11					イ %								ウ %	31.6	83.3	80				上位成果指標	ア %								イ %								ウ 人						
単位	14年度(実績)	15年度(実績)	16年度(実績)	17年度(見込)	18年度(目標)	19年度(目標)	年度(最終目標)																																																																																																																																																																																		
事業費																																																																																																																																																																																									
特定財源	千円 178	172	157	136																																																																																																																																																																																					
一般財源	千円 10	4	233	263																																																																																																																																																																																					
その他	千円																																																																																																																																																																																								
事業費計(A)	千円 188	176	390	399	0	0	0																																																																																																																																																																																		
人件費																																																																																																																																																																																									
正規職員従事人数	人 3	3	3	3																																																																																																																																																																																					
人工	年間		0.0549																																																																																																																																																																																						
人件費計(B)	千円 0	0	507	0	0	0	0																																																																																																																																																																																		
トータルコスト(A)+(B)	千円 188	176	897	399	0	0	0																																																																																																																																																																																		
活動指標	ア 回	9	16	13																																																																																																																																																																																					
	イ																																																																																																																																																																																								
	ウ																																																																																																																																																																																								
対象指標	ア 人	63	85	135																																																																																																																																																																																					
	イ																																																																																																																																																																																								
	ウ																																																																																																																																																																																								
成果指標	ア 人	19	12	11																																																																																																																																																																																					
	イ %																																																																																																																																																																																								
	ウ %	31.6	83.3	80																																																																																																																																																																																					
上位成果指標	ア %																																																																																																																																																																																								
	イ %																																																																																																																																																																																								
	ウ 人																																																																																																																																																																																								

(3) 事務事業の環境変化・町民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?	事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期と比べてどう変わったのか?
全国的にも肥満者は増加傾向であるが、芽室町も特に男性の肥満者率が高く、生活習慣病の発症の増加が危惧される状況であるため	生活習慣病発症の若年化の進行。国としても問題視している。
この事務事業に対して関係者(町民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?	
日中、働いている方も参加できるよう夜間の開催を希望する声があった。	

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との結びつき この事務事業の目的は町の政策体系に結びつくか？意図することが上位施策に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びつかない [理由] 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 結びつく [理由] ↷	肥満を改善することで生活習慣病の予防や悪化を防ぐことができるため結びつく。		
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を町が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 手が引ける [理由] 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 手が引けない [理由] ↷	他に同様の事業を実施する機関がない。		
	対象・意図の拡大又は縮小余地 対象と意図の拡大・縮小の余地はないか？(拡大による成果向上、限定・縮小による公的関与の適正化やコスト削減はできないか)	<input type="checkbox"/> 余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である [理由] ↷	これからの生活習慣病や脳卒中等の重篤な疾病を回避するためには、30～60歳代の方に働きかけることが有効であると考え。		
	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がある [原因] 3 改革・改善方向の部へ <input type="checkbox"/> 余地がない [理由] ↷	個別健康教育開催事業と対象が重複するところがあるため、事業を統合することにより事業費・人件費を削減できる		
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無と有の場合の問題解決策	<input type="checkbox"/> 影響無 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 [具体的な影響] ↷ [問題解決策] 3 改革・改善方向の部へ	住民が個人の意識のみで生活習慣を見直し改善することに限界がある。事業廃止となった場合、住民が生活習慣改善に取り組もうという機会が減る。		
有効性 評価	類似事業との統廃合余地 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合余地はないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) 個別健康教育開催事業と対象が重複するところがあるため、事業を統合することが可能か <input checked="" type="checkbox"/> 上記他に手段等の統廃合が可能 3 改革・改善方向の部へ <input type="checkbox"/> 上記他に手段はあるが統廃合できない ↷ [理由]			
	全庁共通課題の貢献 全庁共通課題の解決に対してこの事業はどんな貢献をしましたか？	<input type="checkbox"/> 貢献した ↷ [具体的に] <input type="checkbox"/> 貢献していない ↷ [全庁共通課題にもかかわらず貢献していない場合はその理由]			
	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(工法の適正化など)事業費を削減した場合の影響の有無と、問題解決策	<input type="checkbox"/> 影響無 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 [具体的な影響] ↷ [問題解決策] 3 改革・改善方向の部へ	肥満により生活習慣病を引き起こす人が増え、医療費や社会的に重篤な問題となる。		
効率性 評価	人件費(業務所要時間)の削減余地 成果を下げずに所要時間を削減できないか？成果を下げずにより低賃金の担当者で遂行できないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 可能 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 [理由] ↷	個々の問題にそった対応となるため、個別の関わりが重要である。人件費を削減した場合、適切な関わりが困難となる。		
	公平性 評価 受益者負担の適正化余地 受益者負担と一般財源が公平・公正な配分になっているか？	<input type="checkbox"/> 適正化余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 適正化余地がない [理由] ↷	血液検査料は個人負担を徴収している。(約18%) 個人負担増額は検討の余地があると思われるが、参加者数の減少が考えられる。		

3 改革・改善方向の部(PLAN)																											
(1)今後の事業の方向性(改革改善案) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 成果の向上 日中の講座開催のみでは、働き盛りの年代である対象者の参加は困難である。開催時期・時間の検討が必要。 類似事業との統廃合余地 個別健康教育開催事業との統合が可能。 事業費の削減余地 評価に必要な血液検査項目・回数としているため削減困難。	(3)改革・改善による期待成果 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">低下</td> <td>低</td> <td></td> <td>×</td> <td></td> </tr> <tr> <td>下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下	低		×		下		×	×
				コスト																							
		削減	維持	増加																							
成果	向上																										
	維持			×																							
低下	低		×																								
	下		×	×																							
(2)改革, 改善を実現する上で解決すべき課題は何ですか？それをどう解決していきますか？ 個別健康教育開催事業と対象が重複するところがあるため、事業を統合することにより事業費・人件費を削減することができる。																											